

地域とのあゆみ展

御堂筋を中心に、大阪の道や地域に現存する近代建築、そして人びとの生活の関わりを歴史的、文化的側面からパネルで紹介。

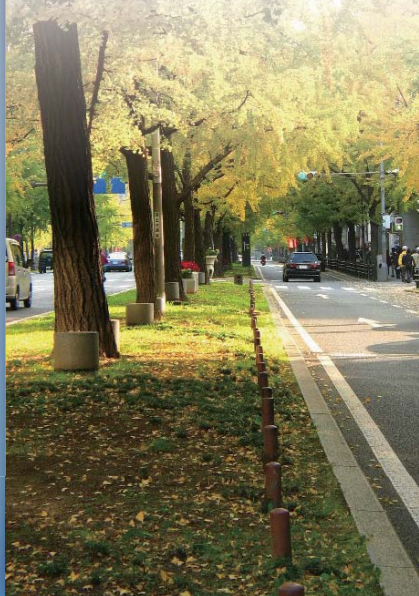
日時 12/14(木)~12/25(月)
平成29年 (平日)9:00~22:00 (土日祝)16:00~22:00

場所 大阪市役所 1階市民ロビー

大阪の道

豊臣秀吉が大坂城を築城するときに構想した道、近代都市計画による道、戦後復興計画に基づく道。道は様々な変遷を遂げて、現在の私たちが親しむ姿へと発展してきました。

そうした歴史、文化を通じて、現在までの大阪の道と人々の生活への関わりを中心に紹介します。



生きた建築

‘生きた建築’とは、「大阪の歴史・文化、市民の暮らしぶりといった都市の営みの証であり、様々な形で変化・発展しながら、今も生き生きとその魅力を物語る建築物等」をいう新しい概念です。

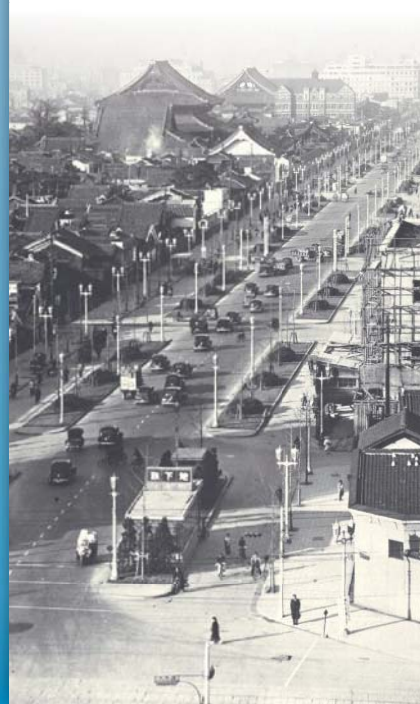
その‘生きた建築’から、御堂筋に関わる歴史的建築物を抜粋し、紹介します。



昔の御堂筋

御堂筋は昭和12年に完成し、平成29年5月11日で完成80年を迎えました。

完成当時の街並みや人々と御堂筋の関わりなどをうかがい知ることができる貴重な写真を多数展示します。



写真出典：大阪歴史博物館

※本チラシに掲載している写真は全てイメージです



【主催】大阪・光の饗宴実行委員会

【共催】御堂筋完成80周年記念事業推進委員会

